

志坦寛 ひろし 教育評論家。明治二十一年五月二十一日熊本縣菊池郡津田村生れ、昭和四十年十一月二十一日歿（一八九一—一九六五）。明治四十二年熊本縣師範學校卒。縣内で教職などのりち、大正八年同文館に入り雑誌『小學校』編輯。十一年下中瀬二郎、野口俊太郎、島藤五郎と共に教育の世紀社を興し新教育運動を展開、更に機關誌『教育の世紀』を創刊して論議經營を営む。翌五年兒童の村小學校を設け、十四年の聯旅行。昭和二年平凡社編輯部長となり、「大衆文學全集」、「世界美術全集」、「新編文學全集」の事を従ふ。四年退社して文園社を經營し、雑誌『綴方生活』を創刊。翌年同志と新教育協會を組織して機關誌『新教育雑誌』を創刊編輯。十年雑誌『婦女界』懸賞小説の応募、「幾多の蘇り」の當選した。爾後世界雑誌新教育協會事務主任、科學動員協會組織課長、大日本總同盟編輯部長等歴任。二十一年十一月『教育新聞』創刊、二十二年福岡教育連合会を結成し、機關誌『道德』生活指導』を創刊。

著書の『生活と教育のまへ』（大正十一年十一月二十日同文館）、小説『學園の芽む』（五版・大正十五年二月五日萬生閣）、『教育六十年記—教育興亡五十年史』（昭和二十一年十一月十六日洋々社）等。

